

番号	12
事業名	子育て施策の充実
予算額（主な支出）	49,560 千円（こども未来課） 262 千円（こども支援課）
特定財源	保育士等処遇改善臨時特例交付金 45,238千円 子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金 89千円
事業の概要	①公立保育園 土曜一日保育実施園の拡大 土曜一日（全日）保育を実施する園を「西」、「ひかり」保育園の 2 園に、「春日」、「第一」、「三雲南」保育園の 3 園を加え、計 5 園で行う。
	②一時預かり事業 多子世帯出産後支援、ひとり親負担軽減支援の実施 一時預かり事業の利用登録時に無料チケットを配布する。 ・第 2 子以降出生世帯：産後 12 か月に限り、上の子を 1 回無料 ・ひとり親世帯：年 1 回の利用
事業の概要	③保育士・幼稚園教諭等処遇改善特例事業 国の交付金を財源とし、保育士や幼稚園教諭等を対象に、賃上げ効果が継続される取り組みを行うことを前提として、職員の収入を引き上げるために、私立施設に対する補助、公立施設の会計年度任用職員の賃上げを行う。
	④潜在保育士活用事業 潜在保育士を活用するため、年間を通した潜在保育士の登録を実施し、園の情報、研修等の情報提供及び研修を行う。 ・潜在保育士登録促進事業 「潜在保育士発掘チャレンジ目指せ 500 人」 潜在保育士が市に登録し、その登録内容に応じ市から情報提供を年 4 回実施。登録者へ定期的な調査を実施し、その調査結果に応じて研修内容、市の施策の検討を行う。なお、登録者には謝礼を行う（商品券の送付）。 ・潜在保育士復職・就職支援研修会 潜在保育士が就職するにあたり、実務等に対する不安を取り除くための研修を行う。※令和 3 年度までは保育園管理運営事業費内で研修のみ実施
事業の背景など	⑤ファミリーサポートセンター事業 利用促進に向けた取組 第 2 子以降出生世帯やひとり親世帯の会員登録時にお試し無料利用チケットを配布し、お試し利用から事業の利用継続につなげていく。 ・第 2 子以降出生世帯：産後 12 か月に限り、上の子を 1 回無料 ・ひとり親世帯：初回利用に限る
	少子化、核家族化の進行により、子育てに対し不安・孤立を感じる保護者が増加しており、特に負担が大きい保護者への支援が求められている。同時に保育ニーズの多様化（土曜一日保育など）への対応も求められている。 また、エッセンシャルワーカーとして、新型コロナウイルス感染症へ対応しながらの運営が求められて働く、保育士・幼稚園教諭の処遇の改善が必要とされるとともに、保育士が不足していることにより施設規模ほどには至っていない受け入れ児童数増加のため、潜在保育士の活用が期待されているが、その潜在保育士の実態について、把握できていない状況にある。

目的・効果など	<p>①土曜保育のニーズに対応することができ、多様な働き方が促進される。</p> <p>②⑤出産直後やひとり親の保護者の心身の負担軽減を図ることができる。</p> <p>③保育士等の定着率が上がり、安定した保育の実施ができる。</p> <p>④「１．潜在保育士登録 → ２．復職就職支援研修 → ３．就職」という潜在保育士活用の流れを作ることを目的とし、勤務する保育士の増加により、受け入れ児童数も増加し、保育園に子どもを預けたい人がより多く預けることができる。また、登録する潜在保育士に、実態調査（現在の就労状況、希望する勤務形態・勤務条件、保育士勤務をするにあたって気になることなどの調査）を行い、今後の保育士確保の施策、復職・就職支援研修の内容検討等に活用する。</p>
事業スケジュール	<p>①②⑤ R4年4月から実施</p> <p>③ R4年2月分から支給（R3補正予算対応）</p> <p>④ 7月 潜在保育士登録開始</p> <p>8～3月 市から情報提供（保育士支援や市内保育園の状況、研修等の情報）</p> <p>1月 潜在保育士復職・就職支援研修会 フォローアップ調査開始</p>
添付資料	なし
備考	なし
担当課	<p>①②③④健康福祉部こども局こども未来課 電話 53-4083</p> <p>⑤健康福祉部こども局こども支援課 電話 53-4198</p>